

授業科目 地域看護学実習 II

【担当教員名】 宇田 優子 他		対象学年	4	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	90
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】 在宅看護の活動のひとつである訪問看護などにおいて既習の知識や技術を統合し、地域における個と家族への看護活動の実際を実践的に学び、在宅看護に必要な技術と態度を修得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問看護の機能・活動の概略を説明できる 2. 地域の特性や生活環境をふまえて、在宅療養者と家族の療養上の課題や問題を抽出できる 3. 抽出した課題や問題に対して、看護計画を立案できる 4. 在宅療養者と家族のQOLを高めるために必要な社会資源について述べるができる 5. 在宅療養者と家族のQOLを高めるために必要な他職種や他機関との連携について述べるができる 6. 在宅ケアの中の在宅看護の役割について述べるができる 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	訪問看護ステーションなどにおいて訪問看護の機能、活動の概略を理解する 実際の訪問看護に同行し、地域の特性、生活環境をふまえて療養者と家族の課題や健康問題を知る 療養者と家族の課題や健康問題に対して、訪問看護計画を立案する 在宅療養者のQOLを高めるために行われている保健医療福祉の連携を知る				
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	Essentials 在宅看護学	木下由美子	医歯薬出版	2007・2,600円	
その他の資料	必要に応じて配布する				
【評価方法】 出席、学習状況 50% 実習記録 レポート 50%			【履修上の留意点】		